

# ThinkSystem DM7100F システム

## 設置とセットアップの手順

### インストールの準備 | ステージ 1

#### 事前セットアップ

1. すべての箱および目録の内容を開梱します。
2. クラスター構成ワークシートを記入します。



#### 同梱物

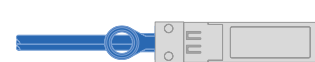
100 GbE ケーブル (QSFP28)



RJ-45 ケーブル  
レンチ・ポート (e0M/BMC)  
(注文によって異なります)



25 GbE ケーブル (SFP28)  
HA インターコネクト、GbE ネットワーク・ケーブル



追加のケーブル

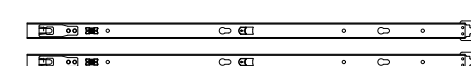


イーサネット・ケーブル

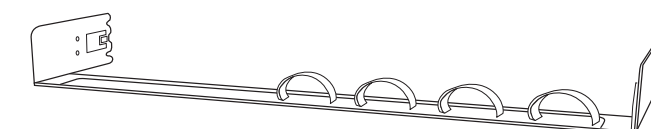
電源ケーブル

micro USB コンソール・ケーブル

スライド・レール・キット



ケーブル管理トレイ



32 Gb FC (SFP+ Op)  
FC 光ネットワーク・ケーブル



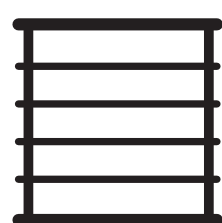
16 Gb FC または 25GbE  
ケーブル  
メザニン・カード (SFP は事前  
取り付け済み)



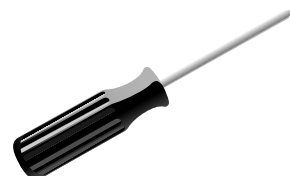
ストレージ・ケーブル  
Mini-SAS HD - Mini-SAS HD  
ケーブル



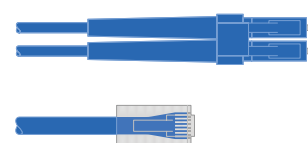
#### 必要なもの



ラック・スペース  
DM7100F シャーシにつき  
4U + 各 DM240N シェルフ  
に +2U



ドライバー



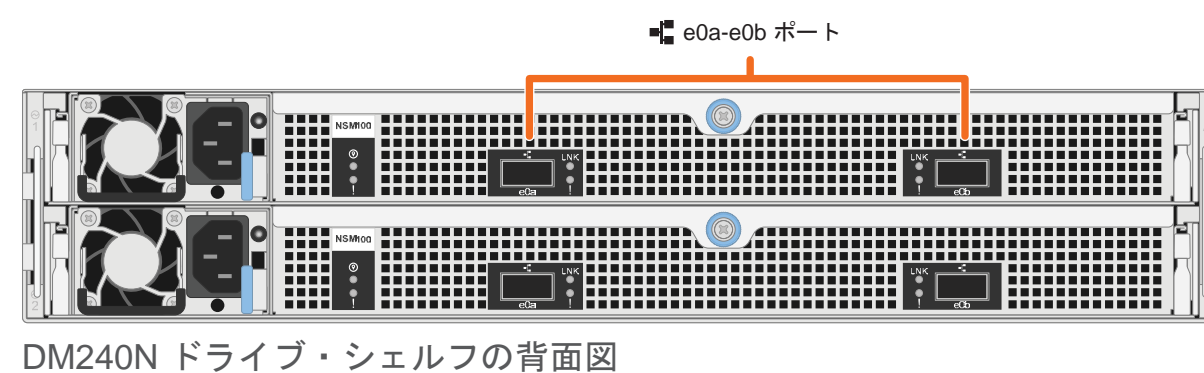
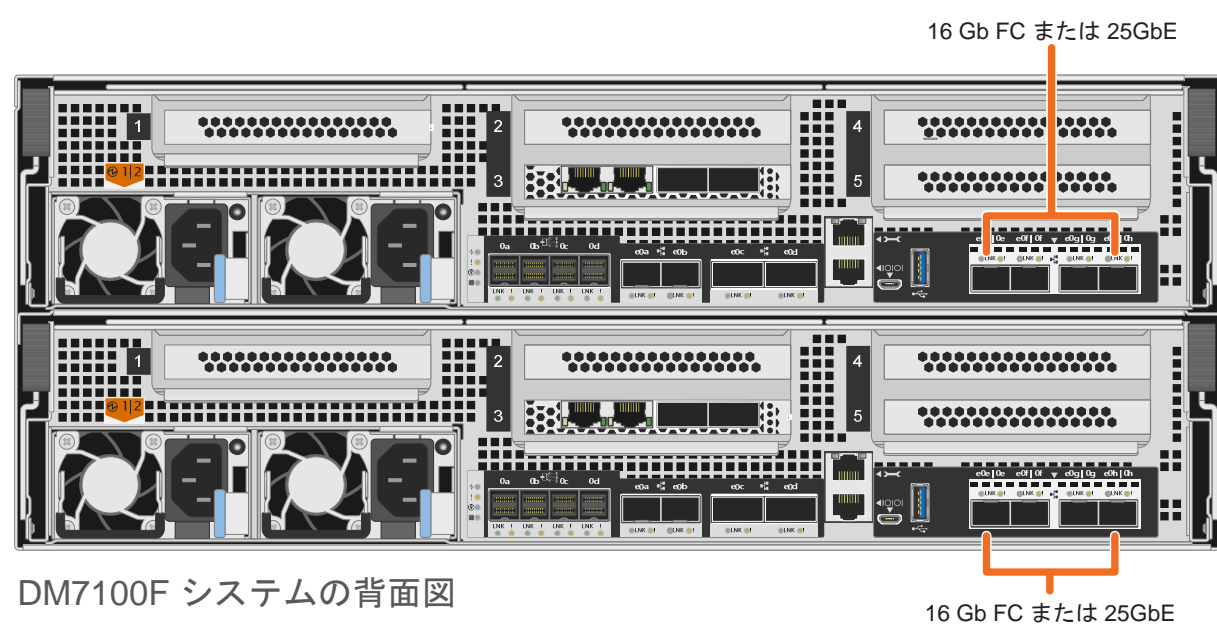
追加のネットワーク・ケーブル  
ストレージ・システムをネットワーク・  
スイッチおよび Microsoft® Windows® ク  
ライアントに接続するため



クライアント  
ソフトウェアを実行して、ストレージ・  
システムを構成します。

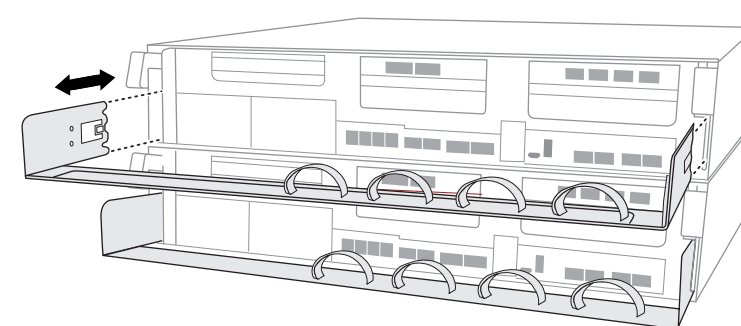


# ハードウェアの取り付け | ステージ 2



## ① ラックへのシステムの取り付け

- 必要に応じてレール・キットを取り付け、システムを取り付けて固定します (キットに同梱されている手順を使用)。
- ケーブル管理デバイスを取り付けます (図に表示)。
- ベゼルをシステムの前面に配置します。
- ご使用のシステムのすべてのドライブ・シェルフを取り付けます。

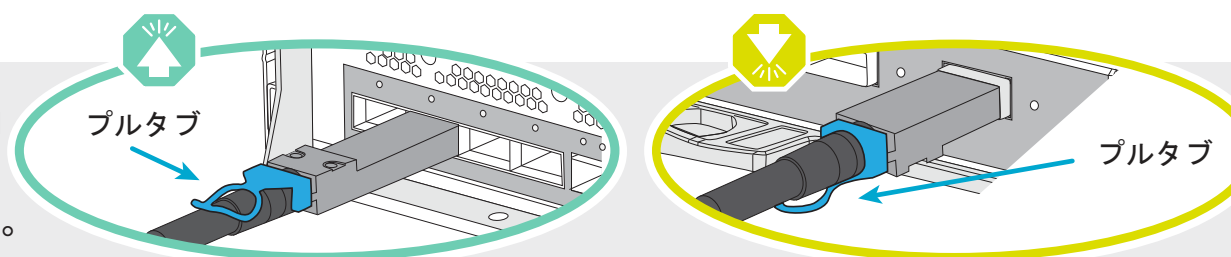


## ② スイッチ・クラスターまたはスイッチレス・クラスターのコントローラーを配線する

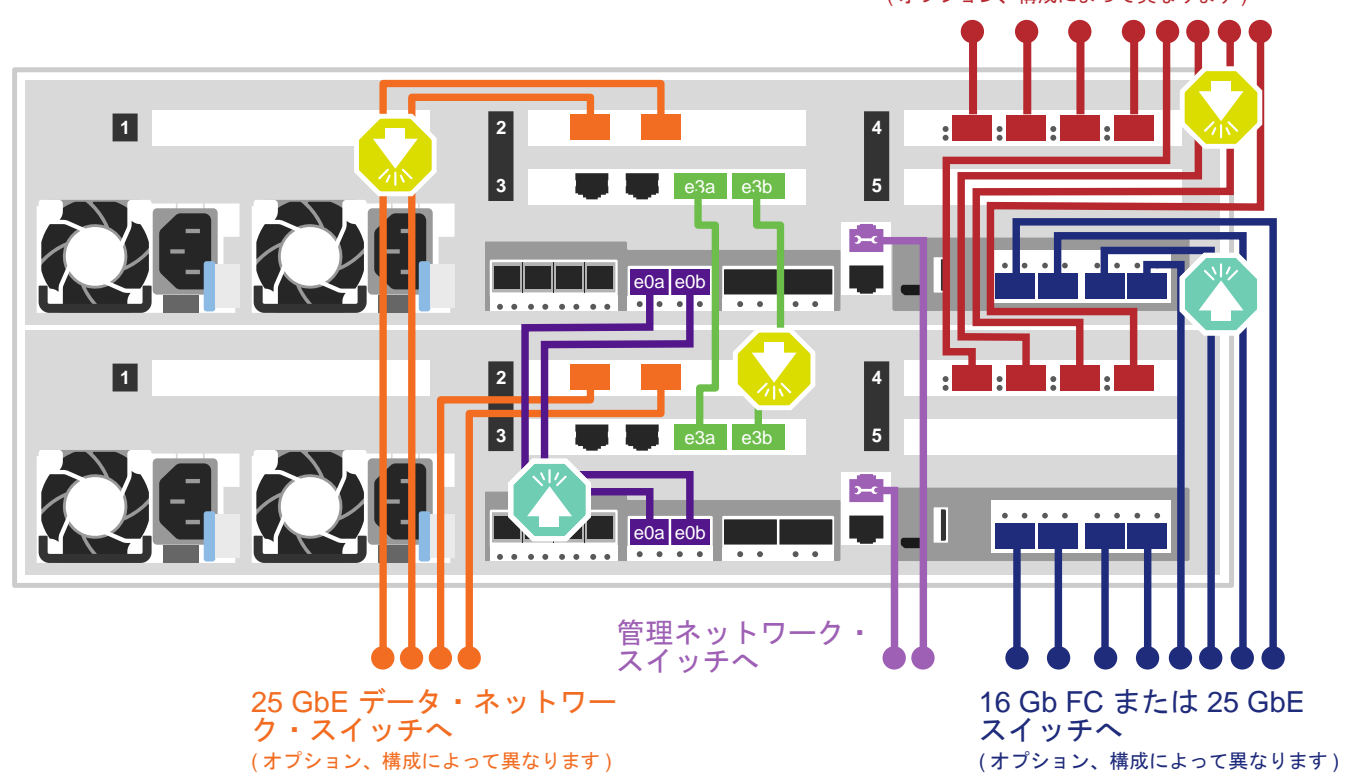
スイッチへの接続での支援は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

注意: 正しいケーブル・コネクターのプルタブの向きについては、イラストレーションの矢印を必ず確認してください。

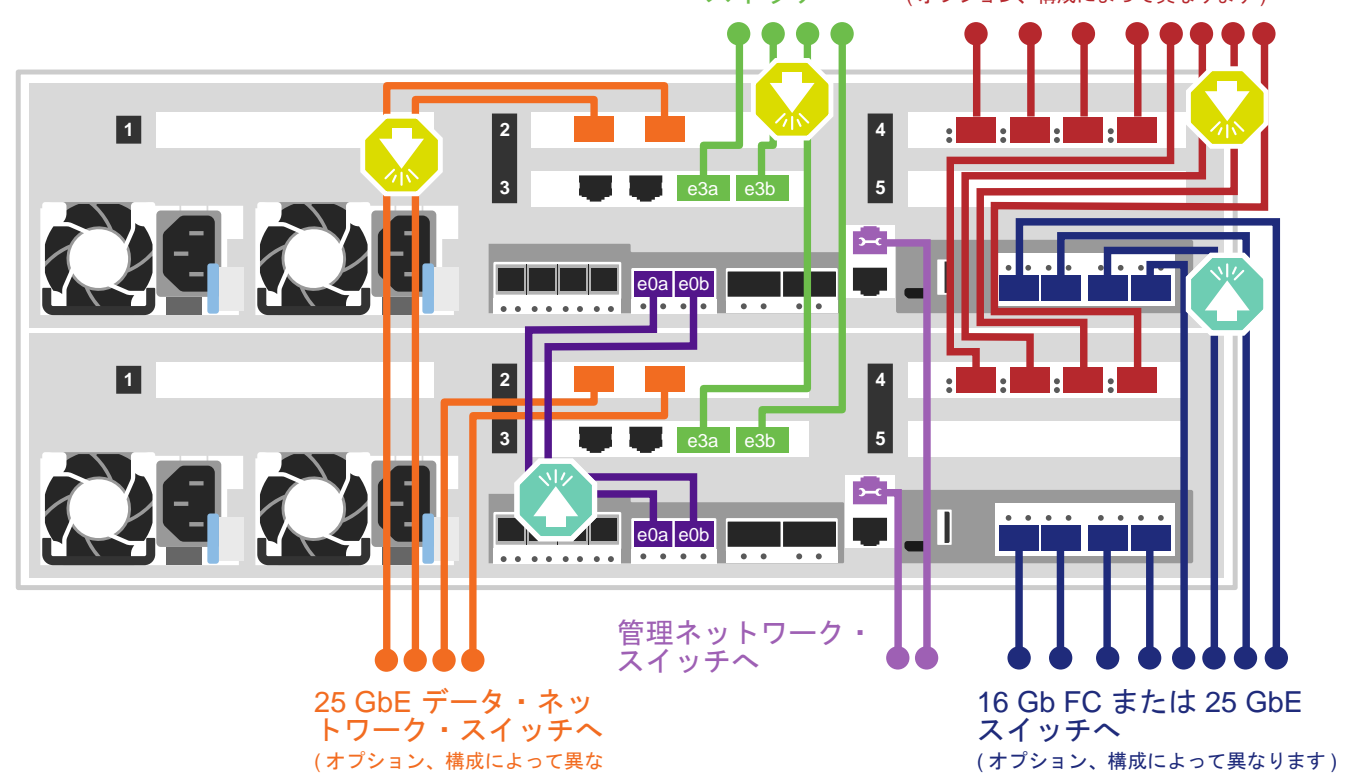
注: ケーブルを取り外すには、慎重にタブを引いてロック・メカニズムを解放します。



### スイッチレス・クラスター



### スイッチ・クラスター



100 GbE ケーブル (クラスター・ネットワーク)

- スイッチレス・クラスター: ポート e3a を e3a に、ポート e3b を e3b に接続します。

スイッチ・クラスター: コントローラー 1: ポート e3a をスイッチ 1 に接続し、ポート e3b をスイッチ 2 に接続します。コントローラー 2: ポート e3a をスイッチ 1 に接続し、ポート e3b をスイッチ 2 に接続します。

25 GbE ケーブル

- ポート e0a を e0a に、ポート e0b を e0b に接続します。

25 GbE ケーブル

- ポート を 25 GbE データ・ネットワーク・スイッチに接続します (オプション、構成によって異なる)。

FC ケーブル

- ポート を FC データ・ネットワーク・スイッチに接続します (オプション、構成によって異なります)。

イーサネット・ケーブル

- レンチ・ポート (e0M/BMC) を管理スイッチに接続します。

光ケーブル

- メザニン・カード (e0e から e0h) を 16 Gb FC または 25 GbE スイッチのいずれかに接続します (オプション、構成によって異なります)。

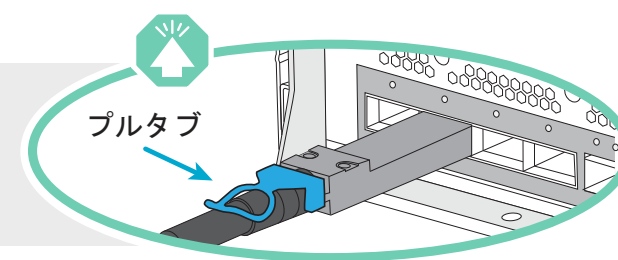
- ケーブルをケーブル管理アームに縛ります。(表示なし)

まだ電源ケーブルを電源に接続しないでください。電源ケーブルが電源およびパワー・サプライに接続されると、すぐにシステムがブートします。



# ケーブル・ストレージ | ステージ 3

注意：正しいケーブル・コネクタのプルタブの向きについては、イラストレーションの矢印を必ず確認してください。  
 注：ケーブルを取り外すには、慎重にタブを引いてロック・メカニズムを解放します。

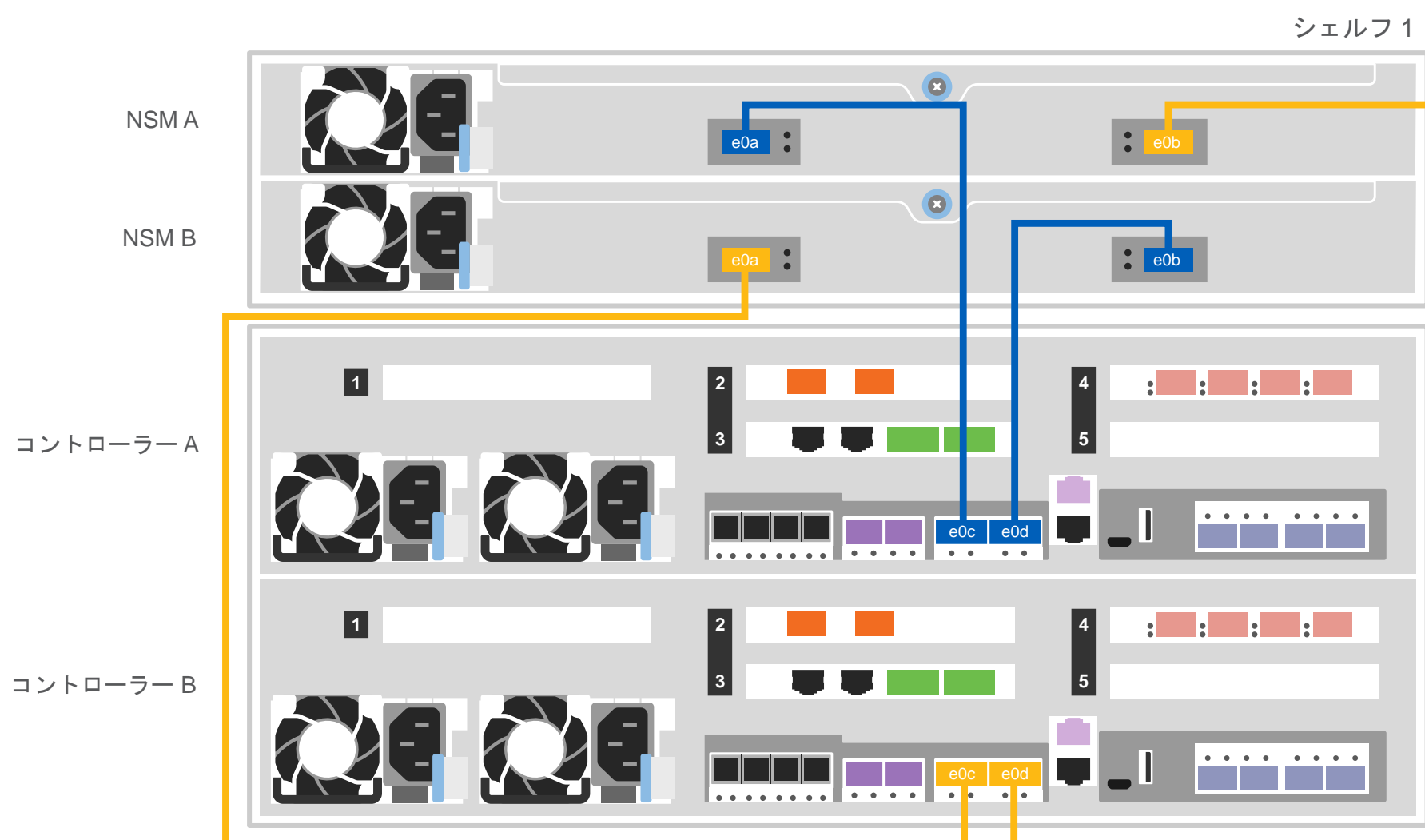


## DM7100F システムの 1 つの DM240N シェルフへの配線



100 GbE QSFP28 銅ケーブル

- シェルフの NSM A のポート e0a にコントローラー A のポート e0c を接続します。シェルフの NSM B のポート e0b にコントローラー A のポート e0d を接続します。
- シェルフの NSM B のポート e0a にコントローラー B のポート e0c を接続します。シェルフの NSM A のポート e0b にコントローラー B のポート e0d を接続します。

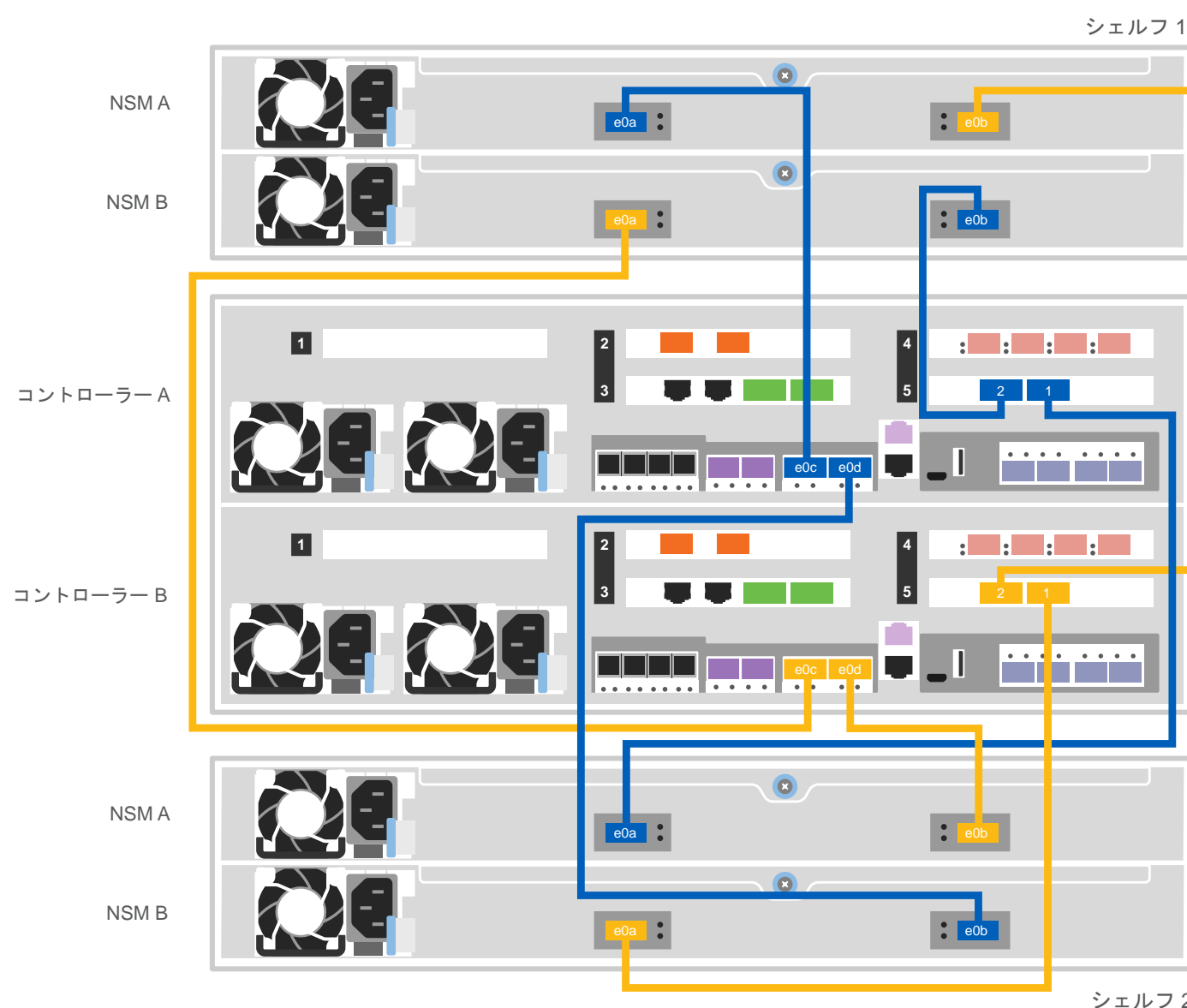
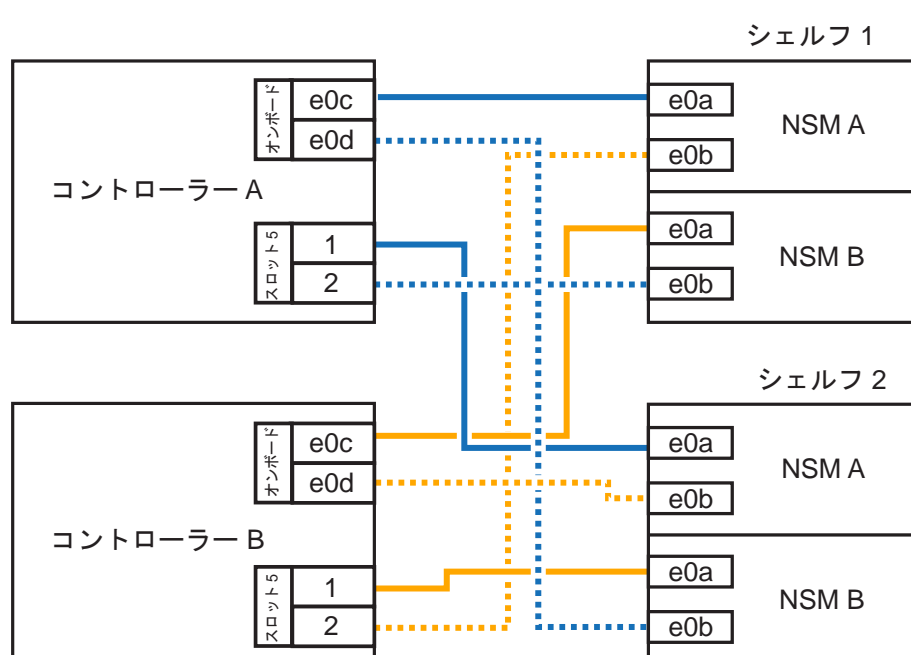


## DM7100F システムの 2 つの DM240N シェルフへの配線



100 GbE QSFP28 銅ケーブル

次の表を使用して、コントローラーを 2 つの DM240N シェルフに接続します。



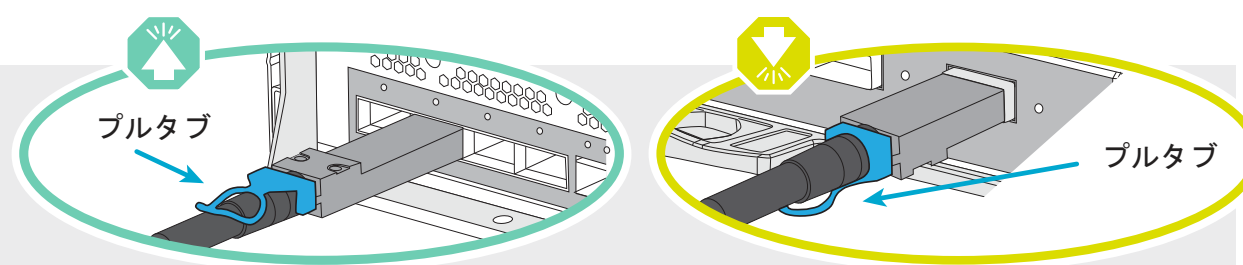
注：スタック内の IOM にノードを接続する前に、拡張シェルフの上部にあるラベルを使用して、接続されているコントローラー・システム ID が DM コントローラーのシリアル番号と一致していることを確認してください。右側のラベル図を参照してください。

接続されているコントローラー・システム  
 接続制御器系統  
 DM MT-M: 7YXX-CT01WW  
 DM SN: XXXXXXXX  
 スタック #: 1

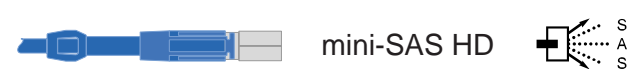
# ケーブル・ストレージ | ステージ 3 ( 続き )

注意：正しいケーブル・コネクタのプルタブの向きについては、イラストレーションの矢印を必ず確認してください。

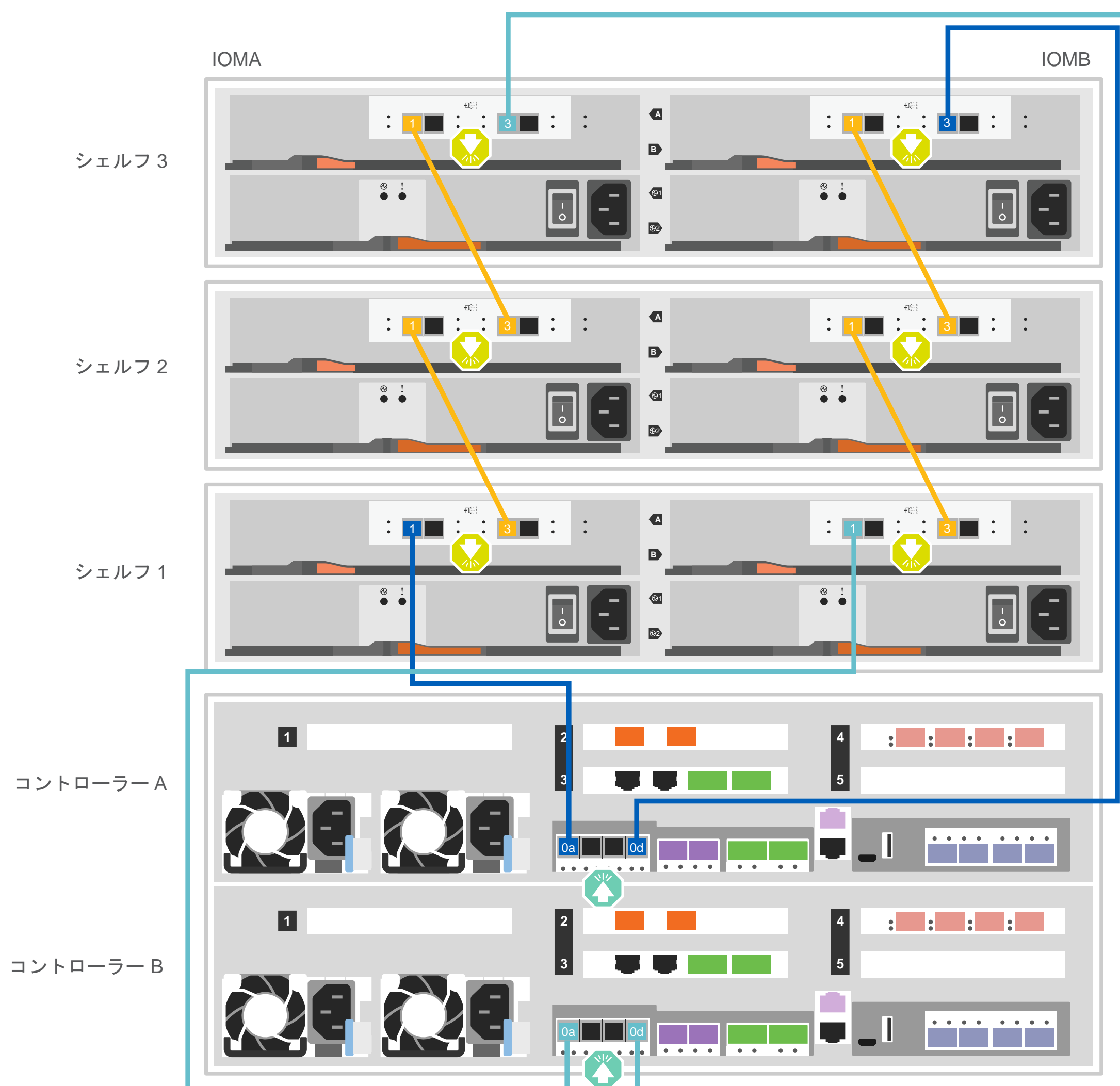
注：ケーブルを取り外すには、慎重にタブを引いてロック・メカニズムを解放します。



## DM7100F システムの 3 つの DM240S シェルフへの配線



- シェルフ間ポートを接続します
- コントローラー A はドライブ・シェルフに接続します
- コントローラー B はドライブ・シェルフに接続します





# システムのセットアップと構成の完了 | ステージ 4

## ① システムに 1 つ以上の外部ドライブ・シェルフがある場合は、次のようにシェルフ ID を設定する

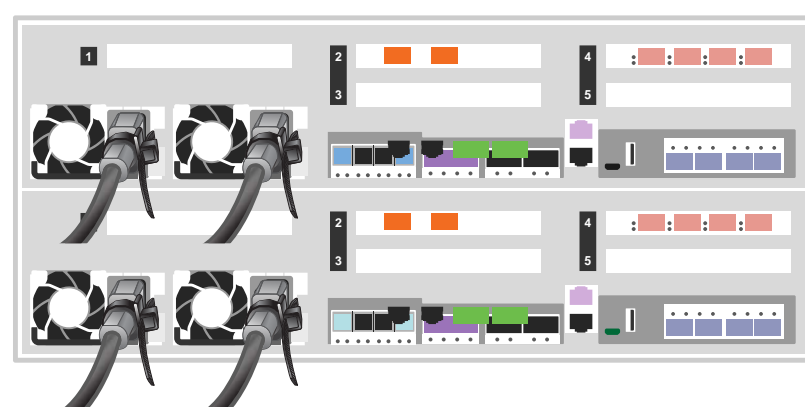
注：シェルフ ID は、DM240N ドライブ・シェルフの 00 および 01 に事前設定されています。シェルフ ID を変更する場合は、ボタンにアクセスするためのツールを作成する必要があります。

1. シェルフを別の電源に接続し、ドライブ・シェルフの電源をオンにして、シェルフの左側にあるエンド・キャップを取り外します。
2. 最初の桁が点滅するまでシェルフ ID ボタンを押し続け、次に最初の桁 (0 ~ 9) が希望の番号になるまでボタンを押します。最初の桁の数字は点滅を続けます。
3. 2 桁目が点滅するまでボタンを押し続け、次に 2 桁目 (0 ~ 9) が希望の番号になるまでボタンを押します。最初の桁は点滅を停止し、2 桁目は点滅を続けます。
4. 2 桁目が点滅を停止するまで、ボタンを押し続けます。次にシェルフのエンド・キャップを交換します。
5. 両方の桁が再び点滅を開始し、LED が点灯するまで約 10 秒間待ちます。次にドライブ・シェルフの電源を切って再投入して、シェルフ ID を有効にします。
6. 残りのドライブ・シェルフについて、この手順を繰り返します。

## ② コントローラーの電源をオンにする

電源ケーブルの接続および固定：

- シェルフを別の電源に接続します。
- コントローラーを別の電源に接続します。



注：パワー・サプライが電源に接続されると、すぐにシステムがブートを開始します。ブートには最大 8 分かかる場合があります。

## ③ 初期クラスターのセットアップの完了

1. 初期ノード管理 IP アドレスを次のノードの 1 つに割り当てます。
  - a. PuTTY、ターミナル・サーバー、またはお客様の環境の同等のものを使用してコンソール・セッションを開きます。
  - b. プロンプトが表示されたら、ノード管理の IP アドレスを入力します。
2. Storage Manager のガイド付きセットアップを使用して、次のとおりクラスターを構成します。
  - a. 手順 1 で割り当てたアドレスにブラウザをポイントします。
  - b. クラスター構成ワークシートからデータを入力します。

注：ガイド付きセットアップを使用してクラスターを構成するときには、サービス・プロセッサのアドレスが分離したネットワークに構成されていることを確認してください。これにより、そのアドレスはルーティング可能ではなくなります。

## ④ セットアップの完了

1. <https://serviceconnect.lenovo.com/> にアクセスして、法人アカウントでログインします。
2. ナビゲーション・ペインで「ThinkSystem Intelligent Monitoring」を選択して、「ThinkSystem Intelligent Monitoring」ページに入ります。
3. ページ上のすべてのシステムのヘルス・ステータスを監視します。

### 役に立つリンク

- Lenovo データセンターサポート Web サイト (ワールドワイド): <http://datacentersupport.lenovo.com/>
- ThinkSystem Storage ドキュメント <https://thinksystem.lenovofiles.com/storage/help/index.jsp>

第 3 版 (2021 年 8 月)  
© Copyright Lenovo 2020, 2021.

制限された権利の通知：データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準拠して提供される場合、使用、複製、または開示は、契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限の対象になります。

LENOVO および LENOVO ロゴは、Lenovo の商標です。  
Microsoft および Windows は、Microsoft グループ企業の商標です。  
その他のすべての商標は、それぞれの所有者の資産です。  
© 2021 Lenovo.